Taka Gikai 輝

多可町議会だより
2019年（令和元年）8月1日　第55号

6月定例会

・多可町で暮らしたい　新たな時代を創る　▷2
・元気におでかけできるまち多可をめざして　▷4
・ここが聞きたい　11人が一般質問　▷6

スクスク育ってね

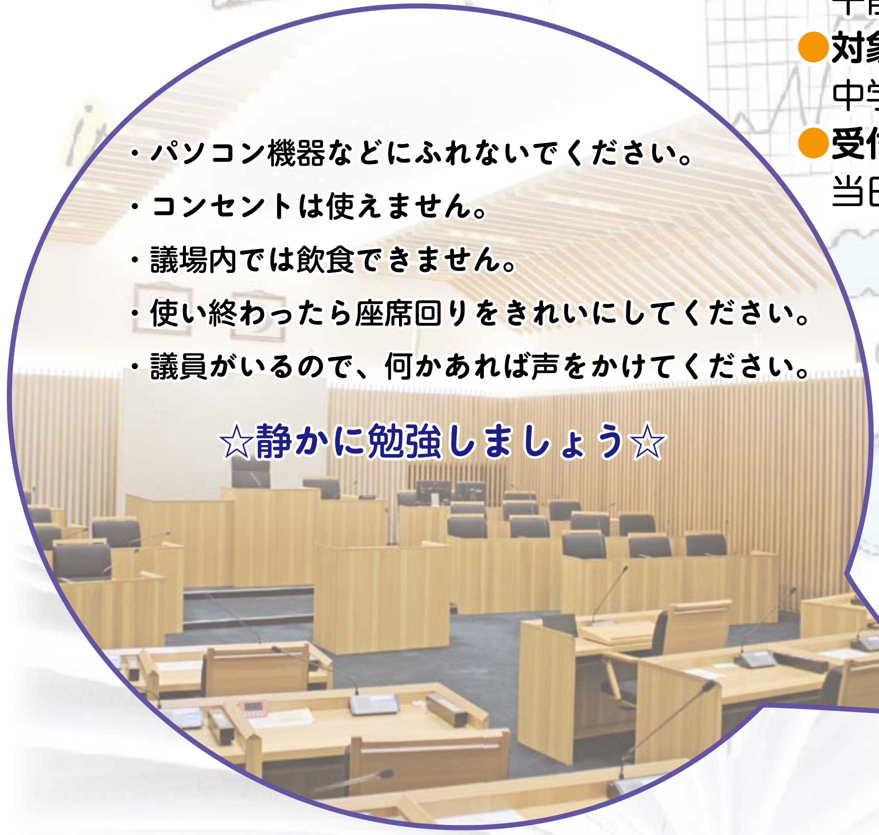
議場を開放 Studying GOES ON!

多可町議会の議場を自習室として開放します。
場所を変えるとグッと集中できるかも。議員もお待ちしています。

●**日時**
令和元年8月19日（月）～23日（金）
午前9時～午後4時

●**対象**
中学生以上の生徒・学生

●**受付**
当日、役場4F議場前で受け付けます。



・パソコン機器などにふれないでください。
・コンセントは使えません。
・議場内では飲食できません。
・使い終わったら座席回りをきれいにしてください。
・議員がいるので、何かあれば声をかけてください。

☆静かに勉強しましょう☆

次回9月定例会日程

令和元年9月3日～9月27日
19日・20日に一般質問を予定しています。
請願の締切日は8月19日です。

編集後記

暑い夏こそ鍋料理を食べてみませんか。発汗をコントロールするために、夏には鍋料理を食べることをお勧めします。

鍋料理に欠かせない豆腐は、汗の出方を調節するイソフラボンを多く含む優良食品です。

ビタミンや、汗で出てしまうミネラルを補給できるきのこ類、血行を促進し鉄分の吸収を助けるビタミンEやCなどを含む野菜を、一度に摂ることもできます。

また、代謝熱を出やすくするタンパク質を多く含む肉や魚も摂れます。

発汗にいい多くの食材を摂れる鍋料理を食べ、暑い夏を乗り切りましょう。

（日原）

発行 / 多可町議会　編集 / 議会広報編集特別委員会
兵庫県多可郡多可町中区中村町123　TEL/0795-32-4775　FAX/0795-32-4969
多可町議会ホームページ / https://www.town.taka.lg.jp/gikai/

多可町で暮らしたい

新たな時代を創る

令和の時代に新たな創生の風を、議会も強い意識を持って取り組みます

6月3日から6月21日までの19日間の日程で、第91回多可町議会定例会を開催しました。

定例会では令和元年度補正予算のほか、多可町地域公共交通網形成計画の策定や小学校のエアコン設置の工事請負契約、請願など32案件が提案されました。

慎重審査した結果、教職員定数改善をはかるための、2020年度政府予算に係る請願は賛成少数で不採択としましたが、その他の議案は原案のとおり可決しました。

夏を安全に乗り切るために

スポットクーラーリース料　118万円

今年の夏に向け、小学校のエアコン設置に取り組んできましたが、キュービクルの増設が間に合わないため、スポットクーラーを入れ、暑さ対策をします。

Q　いつからスポットクーラーを設置するのですか。

A　予算が承認されたらすぐに設置します。夏休みまでの期間と9月を予定しています。

Q　活用方法は。

A　1クラス2台です。天井扇と合わせて稼働します。

多文化共生社会に向けた第一歩

音声同時通訳機　17万円

近年町内で働く外国人の増加に伴い、窓口業務で音声同時通訳機を使って対応します。

Q　どこに設置するのですか。

A　住民課とアスパル内の健康課の窓口です。

がんばれ　スポットクーラー

ひょうご地域創生交付金事業

地域住民などの弾力的かつ機動的な取り組みや地域のポテンシャルを活かした新たな事業展開を支援するものです。

健康保養地拠点施設機能強化事業

エーデルささゆり浴室改修工事ほか　1949万円

傷んだ浴室と脱衣施設の改修工事です。

エーデルささゆりと併せて、周辺施設のガルテン八千代管理棟と体育館などのトイレ改修をし、利用客の増加を目指します。

Q　これによって観光客の増加につながるのですか。

A　一昨年から増えています。更なるアップにつなげます。

生まれ変わる浴室

一般コミュニティ助成事業補助金　210万円

地域の連帯感に基づく自治意識を盛り上げることを目指す事業です。

豊部の交流施設のエアコン設置です。

Q　各集落からの要望に取り組む事業ですが、すべて採択されるのですか。

A　抽選で町内の1事業だけです。

暑さ対策万全に

地域が、それぞれの強みと魅力を生かし、活力を持って自立するためには、その創意工夫による取り組みが不可欠です。

移住定住、地域間交流を推進する社会増対策や多様な地域資源を活用した地域の元気づくり、地域社会が抱える具体的な課題の解決に向けた活動など幅広い取り組みが必要です。

議会では多可町創生に向け、さまざまな角度から議論し政策提言をしていきます。

工事請負契約

中町北小学校　南校舎ほか老朽改修工事
ヨリフジ建設株式会社　1億3932万円

南校舎の屋上防水工事、外壁改修、普通教室の床改修、LED照明化、空調設備工事などです。

エアコン設置工事

エアコンの設置とそれに伴うキュービクルの増設です。

中町南小学校　空調設備整備工事
株式会社ヨシカワ　5270万円

松井小学校　空調設備整備工事
株式会社バンテック　4199万円

八千代小学校　空調設備整備工事
オシバ電気商会　5108万円

※杉原谷小学校の工事入札は後日に予定しています。

一刻も早い増設を　キュービクル

歳出　6月補正予算

款		6月補正	補正後の額
一般会計	議会費	7万円	9953万円
	総務費	△7796万円	15億1644万円
	民生費	3798万円	32億8375万円
	衛生費	1483万円	8億8585万円
	農林水産業費	2808万円	8億7173万円
	商工費	837万円	2億3605万円
	土木費	316万円	12億1521万円
	消防費	43万円	5億7132万円
	教育費	2330万円	9億6155万円
	諸支出金	86万円	4420万円
	歳出合計	**3912万円**	**114億1612万円**
特別会計		**785万円**	**58億1920万円**
公営企業会計		**△8万円**	**33億4553万円**

＊予算金額は補正のあった科目のみです。合計は現予算の総計です。

元気におでかけできるまち多可をめざして

多可町地域公共交通網形成計画の策定

多可町の公共交通には、通学や通院、買い物などの日常生活の移動を支える手段として、路線バスやコミュニティバス、タクシーなどがあります。

しかし、人口減少や高齢化が進んでいることに加え、過度な車依存で利用が低下しています。

このような状況の中、2019年度から5年間の方向性を住民の意見も聞きながら計画しました。

計画の基本理念は「町民一人ひとりが安心して元気におでかけできるまち多可」です。

計画目標は「町民の移動を支える公共交通ネットワークの構築」「分かりやすい公共交通運行情報の発信」「公共交通利用の意識を高める取り組みの推進」です。

町内巡回バスは廃止

西脇直行便を除くコミュニティバス町内巡回バスの4路線を、令和2年3月で廃止します。

①岩座神~多可町図書館
②八千代プラザ~那珂ふれあい館
③長野~日赤病院
④なごみの里山都~那珂ふれあい館

①・③コースはタクシーを利用したサービスへの転換を考えています。

②・④コースは、現在の路線バスを有効活用します。

通学に不便はかけません

Q 多可高生はコミュニティバスをよく利用しますが、廃止になると困るのではありませんか。

A 多可高生の通学に不便をかけないために、大和発八千代小学校止めのスクールバスを、多可高校口まで伸ばします。また大屋発の路線バスは、八千代小学校で大和発の路線バスに連絡します。

私もおでかけしたい

個別ニーズへの対応

Q コミュニティバスが無くなると、困る人が出ますが。

A タクシーでの移動サービスの拡充や利用助成を検討中です。また、タクシー券の拡充は、福祉課と協議して個別ニーズに対応したいと考えています。

計画に沿って運用しているか、またこれからの時代に対応できるのかを見極め、目標を達成するため議会としても提言していきます。

多可町手数料条例の一部を改正する条例

マイナンバーカードを利用し、専用の証明書発行端末機で受付をすれば、戸籍謄抄本は250円、住民票の写しと印鑑登録証明書、課税証明書は100円ずつ安くなります。

専用端末機は庁舎ロビーと各地域局に設置します。

Q コンビニ交付と同じですか。

A 専用端末機では、受付だけで、発行は今まで通り窓口になります。

多可町国民健康保険条例の一部を改正する条例

均等割、平等割が引き下げられ、所得割、上限額が引き上げられます。

これによって、高額所得者へ応分の負担を求めて、軽減対象者は増える改正になります。

Q 今回引き上げられる課税限度額を超える世帯はどのくらいありますか。

A 61万円を超えるのは18世帯の予定です。

Q 基金を取り崩しての運用ですが、今後どのようになりますか。

A 10年先を見越して、県が示している標準保険税率に段階的に近づけていきます。

子どもたちのゆたかな学びを確保するために
教職員組合から請願

学校現場では解決すべき問題が山積しており、子どもたちの豊かな学びを確保するのが困難な状況です。教職員の働き方改革、とりわけ定数改善は欠かせません。

義務教育費国庫負担制度が2分の1から3分の1に引き下げられたことで、自治体間の教育格差が生じる原因となっています。

全国どこに住んでいても、子どもたちが一定水準の教育を受けられるよう国の財源保障は不可欠です。

以上の理由で、5月17日多可町西脇市教職員組合から「教員定数改善をはかるための、2020年度政府予算に係る意見書採択の要請について」の請願が提出されました。

賛成少数で不採択としました。

反対討論

民間活力を用いた働き方改革を

日原　茂樹

教員が忙しいのは教育委員会などに提出する書類作成などの事務業務、部活動や課外活動の指導があるためです。

文科省でも部活動の見直しを含めた改革を推進する中、町でも民間活力を用いた働き方改革を進めるべきです。

子どもたちのための取り組みを

吉田　政義

子どもたちの学力向上、教育環境の充実を願っての請願だとは思えません。新たな教職員の定数よりも、質の向上のための取り組みをすすめるべきです。

賛成討論

教育の地域格差を招くな

山口　邦政

多可町でも40人近い学級が存在します。スクールアシスタントやスクールラブの増員は町の一般財源からの負担です。教育の地域間格差を招かないためにも、子どもたちの教育費は国費で負担するべきです。

きめ細やかな学校教育を

酒井　洋子

子どもの貧困、育児放棄などはここ多可町でも深刻な問題です。

教育以外にも、子どものメンタルケアなど、教員の役割は昔よりも増えています。

よりきめ細やかに指導するために、少人数学級は必要です。

第91回多可町議会定例会 賛否の公表 （全員賛成の議案は除く）

番号	案件名	酒井洋子	藤本一昭	笹倉政芳	橋尾哲夫	加門寛治	日原茂樹	市位裕文	大山由郎	門脇教蔵	山口邦政	廣畑幸子	門脇保文	吉田政義	清水俊博
請願第１号	教職員定数改善をはかるための、2020年度政府予算に係る意見書採択の要請について	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	－

○印は賛成、×印は反対。　賛否同数の場合は、清水議長が裁決します。

素直なまなざし☆多可町の未来を創る

○多可町高校生議会○

日時：令和元年8月8日（木）9時30分開会

場所：多可町役場４F議場

夏の風物詩となりつつある「高校生議会」は今年で4回目を迎えます。

毎回高校生の真剣で素直な視点からの疑問や質問に、気づかされることも少なくありません。

出された質問の中で、バスのダイヤ改正や、SNSの利用での多可町アピールなどが実際に政策に生かされました。

＊未来の多可町を担う、高校生たちの真剣な質問をぜひ傍聴してください。

議会だよりでは、質問と答弁を要約しています。
熱気あふれる発言の数々は本会議場でお聞きください。傍聴をお待ちしています。

全文は多可町議会ホームページを検索

質問議員	質問要旨	掲載ページ
大山由郎	埋もれた宝を活用せよ	7
門脇保文	太陽光発電施設条例違反者の公表は	8
	学校給食を見直せ	
山口邦政	命のバトンの普及促進を	9
	政策にSDGsを取り入れよ	
門脇敦蔵	地方創生の方向性や具体策は	10
橋尾哲夫	山口茂吉資料館などを設置せよ	11
	山田錦ロードを設置せよ	
	ごみ処理施設の再検討を	
廣畑幸子	避難所の安全性は	12
	がん検診を受けやすく	
藤本一昭	遺跡としての価値を問う	13
	公共施設等再配置計画を実行して具体的に廃止、処分整理を（未掲載）	
	観光振興の今後の展開のために（未掲載）	
笹倉政芳	安心して働き暮らせる環境を	14
市位裕文	環境パトロール廃止後の対策は	15
	小学校の猛暑対策は万全か	
酒井洋子	国保の問題点を認識し支援を	16
	水道職員の技術継承の策は	
日原茂樹	農業と福祉の連携に取り組め	17
	中高年のひきこもり対策は万全か	

大山由郎議員

問 埋もれた宝を活用せよ
答 人材を掘り起こし活用する

大山 まちづくりの基本は、豊かな文化、自然などの特性を活かし人々が集い交流し、相互に協力関係を築き、共にまちづくりを進めることです。
　持続可能なまちにするため、役場全体の意識改革が必要です。いま一度、自ら考え自ら行う地方自治の原点に立つべきです。

町長 近年高齢化や核家族化が進み近所付き合いが希薄化しています。自助、共助を担うNPO法人などは、優れたリーダーや人材で運営されています。このような自主的な活動を通しての人づくりこそが、まちづくりの基本だと思います。
　一人ひとりが危機意識と改革意識を持ち、行政のプロとして、専門性と公益性を高め行政改革に取り組みます。

大山 住民ニーズの多様化や高度化に対応するために、職員の資質の向上が必須です。地域計画を提案できる力を身に付け、まちの価値を高める戦術を立てるべきです。

町長 職員の資質向上のため従来の研修に加え、国際文化研修所などが主催する専門性の高い研修を受講して、職員提案のできる環境づくりに取り組みます。

大山 福井県鯖江市では、女子高生たちが中心になり、まちを楽しむ企画などを提案する「JK課」を立ち上げて、まちを盛り上げています。
　身近な宝を掘り起こし、新たな宝を手に入れた素晴らしい事例です。
　町内各地に埋もれている多くの宝を掘り起こし活用することが、お金の掛からないまちづくりにつながります。

町長 多可町では、高校生議会や自転車ネットワーク道路整備など、地元の高校生の意見や提案を受けて、まちの施策に反映しています。今後も共に考え学ぶ機会をつくります。
　地域の宝である人材を掘り起こし活用して、集落に活気が出ることでまちも活性化します。今後も、選べるまち、選ばれるまちを目指します。

8月8日は高校生議会です

問 太陽光発電施設条例違反者の公表は
答 先例として検討中

門脇保文議員

門脇 前回の一般質問で「公表時期は現在検討中ですが、準備が整い次第条例に基づき対応していきます」との答弁がありました。

公表はしたのですか。

設置者および施工業者の公表もすべきです。

町長 県の太陽光発電施設等と地域環境との調和に関する条例は平成29年7月1日から施行されていますが、当該事業者は「7月1日以前に立木の伐採などの作業に着手をしたとして条例の対象外である」との見解です。

一方、県では「7月1日以前に行われた立木の除去は太陽光施設の工事着手には該当しない」ため、県条例の対象施設として事業計画書の届け出をお願いしています。

県でも事例がなく今後の先例ともなり得るため、法的位置づけ、手法などを確認し対応します。

問 学校給食を見直せ

門脇 内山葉子著書「パンと牛乳は今すぐやめなさい!」に書いてあるように、一日も早く子どもたちの腸内環境に優しい食事に変えるべきです。

牛乳のかわりにみそ汁や豆乳、小魚、野菜を、パンのかわりに米飯にすべきです。

子どもたちの腸内環境を整え、消化しにくいグルテン（小麦）やカゼイン（牛乳）に対して不必要に消化酵素、新陳代謝酵素を使わないことが免疫力強化につながり、今以上に健康で勉強やスポーツに取り組めます。

答 牛乳は不可欠な栄養食品

教育長 著者は、全ての人がパンと牛乳を食べるのをやめるべきだという主張はされていません。

牛乳は他の食品と比べて3大栄養素であるたんぱく質、脂質、炭水化物をはじめ、各種のビタミンやカルシウムなどミネラルを豊富に含んでいるバランスのよい食品であり、学校給食に不可欠な栄養食品です。

パンの材料の小麦は兵庫県学校給食食育支援センターから購入し、食品衛生法の規定に基づく安全なものを使用しています。

バランスの良い食事を

問 命のバトンの普及促進を
答 さらなる周知を進める

山口邦政議員

山口 緊急医療情報キット（通称：命のバトン）は、救急隊員に既往歴、かかりつけ医や投薬状況、緊急連絡先などを的確に伝えるシステムですが、普及が進んでいないのでは。

①主な対象者の65歳以上の高齢者の一人暮らし世帯、高齢夫婦世帯の数は。

またキットの配布世帯数は。

②実際の現場で活用された件数は。

③キットの周知と普及拡大に向けた対策は。

④要支援でない高齢者への啓発ができていないので、病院などでのチラシ掲示を依頼しては。

冷蔵庫に入れておけば安心　命のバトン

町長 命のバトンは迅速かつ的確に救急医療を実施するためには大変有効です。

①一人暮らしの世帯および高齢者のみの世帯が983世帯で配布は340世帯。障がいなどで配慮すべき世帯が82世帯で配布は6世帯です。

②統計としては把握できていませんが、活用実績はあります。

③民生委員やケアマネージャーなどを通じて周知をしていますが、今後は対象者への個別案内を含め、町広報やたかTVなどでさらなる周知を進めます。

④今後の検討課題です。

問 政策にSDGsを取り入れよ

山口 SDGs（エス・ディー・ジーズ）とは2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」です。

2030年までに達成する17の目標と169のターゲットを示して、持続可能な世界を次世代に受け伝えていくことを目指しています。

町も政策の中に取り入れるべきです。

答 総合計画などに取り入れる

町長 私たちが取り組むべきまちづくりが、SDGsの達成につながることを認識した上で、今後策定予定の「まち・ひと・しごと総合戦略」や令和3年に見直しの時期となる「総合計画」などに取り入れる研究をします。

問 地方創生の方向性や具体策は
答 引き続き活性化に取り組む

門脇教蔵議員

門脇 28年度より地方創生交付金事業の総額は約1億3928万円で、その内、地域ブランド発掘・発見・創出事業に約8044万円が使われています。

多可町の知名度を上げることは大事なことですが、まるで打ち上げ花火のような事業展開になっていませんか。

今後の地方創生の方向性と手法について、具体的にどのように考えているのですか。

町長 無理のない人口対策で、転出抑制、転入促進、出生率の回復などを着実にします。

また、地方創生推進交付金で安定した雇用の創出と、起業支援など地場産業の活性化に取り組みます。

住民や、転入転出される人を対象にアンケートを実施し、これまでの成果と課題を把握、住民と行政が協働した第2次多可町総合戦略を策定します。

門脇 2、3年前からエーデルささゆりのお風呂、トイレの改修などですが、多可町唯一のホテルであり、おもてなしの場であるエーデルささゆりの整備には、優先的に町費をかけ、速やかにするべきです。なぜもっと早く計画的にできないのでしょうか。

また「ひょうご地域創生交付金」は、地域を活性化するために使うものです。

起業する若い女性たちや、工夫をこらしての村づくりなどに積極的に使うべきです。

町長 子育て支援など、ずっと続く事業は一般財源を充当し、期間限定のひょうご地域創生交付金は、その時に必要なものに充てます。

企画秘書課長 数年前から要望があり、30年度からエーデルささゆりの修繕をしています。健康保養地の拠点施設でもあり、その事業の拡充ということで県からも認められ補助対象となりました。

計画的にできるだけ有利な事業の補助メニューで、事業展開していきます。

各地で多可町をPR ―大阪万博記念公園―

問 山口茂吉資料館などを設置せよ
答 常設に向け施設の調整を進める

橋尾哲夫議員

橋尾 斎藤茂吉の高弟である歌人山口茂吉は多可町の誇りです。長く後世に残すために、資料館を設置し、また地元に歌碑を建設すべきです。

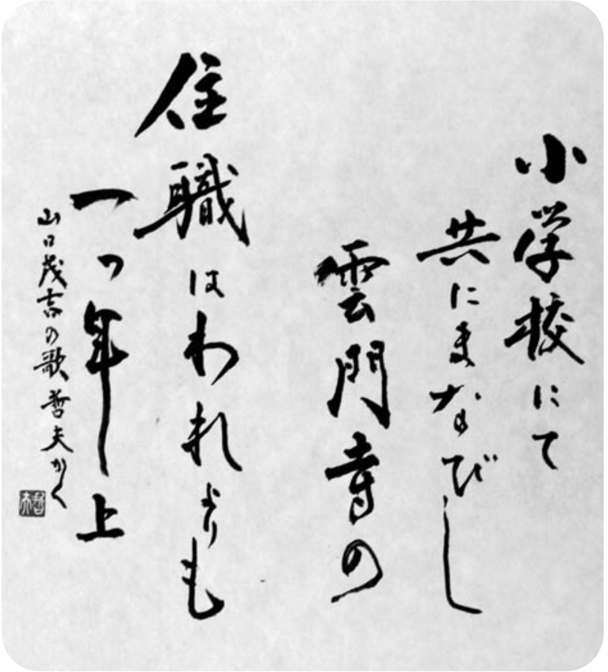
町長 山口茂吉は多可町の偉人です。常設に向けた施設が必要です。以前に歌碑建設計画がありましたが、地元との調整ができませんでした。地元の申し出があれば、可能な予算で将来実現できます。

問 山田錦ロードを設置せよ

橋尾 山田勢三郎没後百年を記念し、中区安田地区県道に、山田錦ロードを設置してはどうですか。山田錦は多可町が発祥地です。

答 積極的に取り組む

町長 山田錦ロードの設置は道路管理者との個別協議が必要です。検討を加え、積極的に取り組みます。



山口茂吉の歌

問 ごみ処理施設の再検討を

橋尾 平成28年6月27日の議員全員協議会の説明資料は誤った内容ではないでしょうか。当初の建設費用試算では、51億円が36億円増加の87億円になります。維持管理コストは2.3倍になります。数字には大きな開きがあり納得できません。

新ガイドラインでは最新の施設でなければ補助金の対象になりません。

新ごみ処理施設建設整備に関する基本合意の調印を住民に知らせていますか。

40年後に再建設する際に、人口は減少していますが、北播磨地区に3基の施設が残り、子や孫に大きな負担となります。その責任の一端は吉田町長にあります。

答 1市1町で建設を進める

町長 4市1町で整備すると建設に係るスケールメリットと維持管理経費は削減されますが、多可町の負担が約49億円になり6億5千万円高くなります。

多可町と西脇市の1市1町で、令和6年4月の稼働に向けて取り組みます。

1市1町で取り組むことは議員全員協議会で説明しただけではなく、基本合意の調印を記者発表し、広く新聞記事として周知されています。

計画策定に向け環境保全会議などを開催します。今後ごみ処理施設整備基本計画を策定し、住民の皆さんの意見を反映します。

問 避難所の安全性は
答 施設の状況に合わせた避難を

廣畑幸子議員

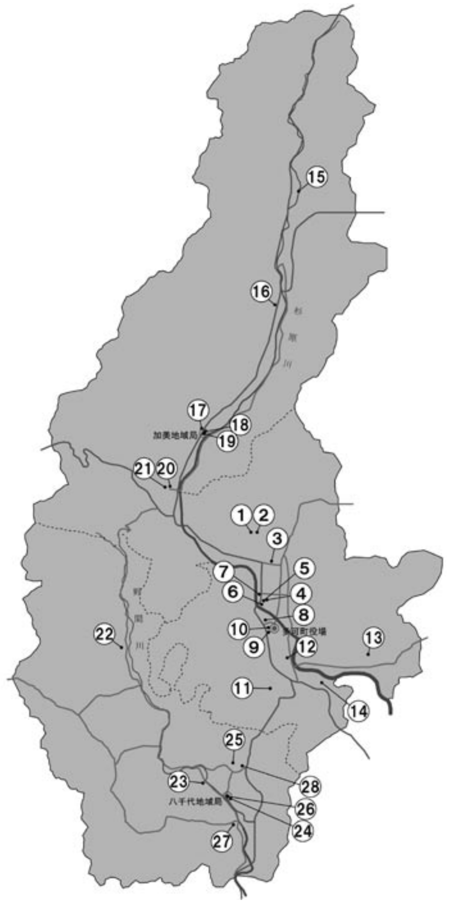
廣畑 指定避難所はホームページに地図と一覧表が載っていますが、大雨のとき浸水の可能性がある平屋建てと、2階建てであっても1階が使えなくなる可能性のある施設があります。また、耐震化がまだのため、地震災害時には避難所にはできない施設もあります。この一覧表の施設は、避難所として安全性に問題はないのでしょうか。

福祉避難所も必要です。進捗状況はどうなっていますか。

町長 現在、大雨のときの避難施設は18、地震のときの施設は22あります。大雨のときの施設は、土砂災害警戒区域外にあり、浸水想定区域でも、浸水の深さが2メートル未満で、2階以上の建物なら可能です。地震では、昭和56年以降の耐震性基準を有する建物か、耐震補強工事が済んでいるものを可能としています。修繕が必要になればその都度します。

福祉避難所は、本年7月中に各施設と協定を締結できるよう、最終調整をします。

多可町の指定避難所



多可町HP→防災情報
→多可町防災マップ
→指定避難場所を確認する

問 がん検診を受けやすく

廣畑 昨年は、町ぐるみ健診で延べ629人が「がん検診」を受けました。検診を受けることで早期発見ができ、完治する確率も高くなります。国民の2人に1人ががんに、3人に1人が死亡するといわれている時代、早期発見は大事です。

そんな中、子宮がん検診の20代の受診は少ない状況です。なかなか受けづらいかもしれませんが、若い時にがんになると進行も早く、分かった時には手遅れでは困ります。

そこで母親と一緒に受けると割引がまた、無料クーポンの対象の時は2人とも無料にできませんか。

答 若い人への周知を工夫する

町長 母娘が一緒にというのは、若い世代に受診を促す方法の一つと考えられますが、受診間隔が2年に1度なので合わない場合があります。

子宮がん検診は20歳への無料クーポン発行に加え、30歳40歳50歳に発行しています。

今後、若い人へのPRを工夫します。

問 遺跡としての価値を問う
答 貴重な歴史遺産

藤本一昭議員

藤本 余暇村公園内の銅精錬所跡展示館の活用について尋ねます。

余暇村公園は数年前に兵庫県から譲渡を受けた公園です。この銅精錬所跡展示館の施設の管理は建設課、展示物は教育総務課の那珂ふれあい館が埋蔵文化財として管理しています。

この施設の近年の見学者の状況の報告を求めます。

また、展示館の今後の利用、活用、施設運営、展示物をリニューアルする計画などがあるのですか。

当遺跡の文化財としての重要度、価値を尋ねます。

教育長 銅精錬所跡展示館では、昭和57年の県立余暇村公園建設に伴う発掘調査で発見された石垣山遺跡の銅精錬に関する遺構を保存、展示しています。

発掘調査では、19世紀中頃（江戸時代後期）の上層の遺構と、16世紀後半から17世紀前半（安土桃山時代～江戸時代初期）の下層の遺構が発掘されています。

銅の生産は、鉱石を採掘する山元と呼ばれる地元で製錬をし、大阪の銅吹屋へ送って、銅を精錬し、海外に輸出していました。

石垣山遺跡からは鉱石を採掘する工程の遺構や作業場が発掘され、道具なども出土しています。

良好な状態で発見された数少ない例であり、価値は高いです。

また、昨年の見学者は4件47人でした。関係各所と町内の学校とも連携し、貴重な歴史遺産を広く活用します。

貴重な銅精錬所跡展示館 ― 余暇村公園 ―

藤本 近年ほとんど利用していないのが実態です。学校教育課は、この施設の利用にどのように取り組むのですか。

学校教育課長 中学2年生の歴史の授業の中で、江戸時代の産業についての学習時に活用しています。

遠足などで余暇村公園に行ったときに、貴重な遺跡を見学します。

問 安心して働き暮らせる環境を
答 充実した情報発信に努める

笹倉政芳議員

笹倉 多可町が持続可能なまちづくりを推進するには、地域経済の活性化が不可欠です。しかし、町内の企業は今人材不足の問題に直面しています。なぜ、町内に多くの企業があるのに若者が流出していくのでしょうか。

2月に商工会会員で構成されている企業懇話会と議会との意見交換会を通じて、仕事を求めている人に効果的に知ってもらえる機会が少なく、求人情報も十分に届いていないという問題が浮き彫りになりました。

企業だけの課題とは言えない状況だと思います。

若い世代への就労意識の醸成と、この町で安心して働き、そして暮らせる住居環境の整備を早急に進めるべきです。

町長 企業懇話会へのアンケートでは、人口減少や労働者の流出で将来に不安を感じる事業所が90％近くありました。

多可町の人口動態をみると、若い世代の転出が多く人材確保は喫緊の課題と認識しています。

現在は多可高校の1年生を対象に事業所紹介や成人式で企業ブースの設置。たかテレビでは求人情報を流しています。

今後は本人だけでなく、保護者や学校の先生も含めた協力体制の強化と、さらなる情報発信の充実に努めます。

教育長 ふるさとへの愛着心を育てる教育と、社会での役割や生き方働き方を考える教育を融合した「ふるさとキャリア教育」の取り組みを進めています。

具体的には、中学1年生を対象に地元で夢を持って働く先輩との学習会や、中学2年生には社会の一員としての自覚を高める「トライやる・ウィーク」を実施しています。

今後も企業や商工会と連携し、一層「ふるさとキャリア教育」を充実していきます。

定住推進課長 住宅マスタープランには、町営住宅の入居要件緩和などの検討が明記されています。

今後は、多可町公営住宅審議会で十分審議して、住まいの確保に努めます。

成人式で地元企業をPR

問 環境パトロール廃止後の対策は
答 担当課による巡回を続ける

市位裕文議員

市位 各区、月2回公用車で、美化活動のための環境パトロールが実施されてきました。4月に廃止され道路周辺のごみが目立ちます。ごみ収集の対策を示してください。

町長 環境パトロールは大規模な不法投棄を早期発見し、良好な生活環境を維持するために、月6回実施していました。

その結果、不法投棄は少なくなりました。

道路上の生活ごみの収集は本来の目的ではなく、環境美化意識高揚のため回っていました。

現在は、担当課で定期的な巡回を実施しています。

不法投棄はアカンで

問 小学校の猛暑対策は万全か

市位 多可町では、現在エアコンの設置が進んでいます。小中学校同時に設置と決まりましたが、小学校はこの夏には無理との説明を受け、代替案としてスポットクーラー44台の設置を聞きました。詳しい内容と暑さ対策の考え方を聞きます。

児童や保護者への説明はどのようにされていますか。またスポットクーラー44台の割り振りを教えてください。使用判断は誰がするのですか。

答 移動授業とスポットクーラーで対応

教育長 昨年末の議会で中学校のエアコン設置の工事費、小学校の実施設計費と工事費の予算が決まりました。中学校は6月末に完成します。小学校は実施設計の段階でキューピクルの増設の必要が判明したため、2～3カ月の遅れが予想され、今夏には間に合いません。

そこで、非常に暑さが厳しい日は、エアコンのある特別教室や会議室を使って授業をしたり、エアコンの無い教室はスポットクーラーを2台ずつ設置して天井扇と併せて使います。

学校へは、校長会で説明し、保護者には、6月14日の予算決算特別委員会が済んだ段階で文書で知らせました。

児童の体調を第一に猛暑対策に努めます。

教育総務課長 スポットクーラーは中南小10台、中北小6台、松井小10台、杉原谷小6台、八千代小12台を設置する予定です。

各学校の判断で運用します。

問 国保の問題点を認識し支援を
答 国へ軽減制度創設を求める

酒井洋子議員

酒井 **国民健康保険では、高額所得者の限度額超え保険税を、それよりも所得の低い世帯が負担しています。また、無収入の子どもに保険税があるのも国保独自の仕組みです。**

国保制度の問題点を認識し、町は支援するべきではないでしょうか。

例えば年収430万円の5人世帯で、社会保険料が21万4000円に対し、国保は49万3100円と倍以上です。

若者が町に残り、移住者を増やし少子化に歯止めをかけたいなら、減免なども検討をするべきです。

町長 国保は、都道府県単位化を機に、一般会計からの法定外繰り入れを解消削減するようにと指導も強まっており、町独自の減免策などは適当ではありません。

国保と社保の保険料の格差などは、構造的な問題であり、子どもの均等割減免などは国が実施すべきです。支援策を国保制度として創設するよう国へ要望します。

住民課長 子どもの均等割は社保にはない負担で、制度間の公平性や負担の平準化のために、さらなる軽減措置が望まれます。財政措置を含めた軽減制度が創設されるよう国に求めます。

問 水道職員の技術継承の策は

酒井 **水道の維持管理は、休日夜間の緊急対応なども含め、少ない職員であたり、外部委託と比較すると経費面でも大きな削減になっています。ただ職員の異動があるため、技術継承ができないという問題があります。**

適材であれば固定して、技術を確実に継承し、豊かで清らかな多可町の水を守るスペシャリストを育てるべきです。

答 最良の手法を見つけ出す

町長 役場内での技術継承、近隣自治体との連携、OBの活用、民間事業者との連携などを検討し、多可町の水道事業にとって最良の手法を見出したいと考えています。

上下水道課長 多可町の水が継続して安全に、適切な値段で続けられるよう努力します。

子どもたちも 美味しい水もまちの宝 ― 岸上浄水場 ―

問 農業と福祉の連携に取り組め
答 行政と民間の連携の輪を広げ進める

日原茂樹議員

日原 **農業従事者の高齢化や減少が進む農業分野と、障がい者の働く場を求める福祉分野を結び付け、両者の課題を解決しようとする農福連携の取り組みが各地で広がっています。**

厚生労働省と農林水産省が連携して、障がい者の就農促進事業に取り組み、職域拡大や収入拡大を目指しています。

多可町でも、国の補助事業も活用しながら就労機会の拡大、社会参加につながる支援に取り組むべきです。

町長 普及に向けての両方の知識のある人材の確保や、相談窓口の拡大が必要です。

近隣市や他府県での取り組みを参考にして、農業法人などへ働きかけ、国などの補助事業の活用を検討します。

県の農福連携支援アドバイザー派遣などの支援事業を活用し、福祉事業者の農業への知識や理解を深め、農業と福祉の分野で行政と民間の連携の輪を広げ、活力ある農村づくりを進めます。

問 中高年のひきこもり対策は万全か

日原 **内閣府は今年3月に中高年のひきこもりの数は61万3000人に達していると発表しました。**

支える立場であった親の高齢化で、共倒れのリスクを抱えながら、80代の親が50代の子の面倒を見る、8050問題という言葉が生まれるほど事態は深刻です。

国も対策を強化し始めた中、多可町でもひきこもり世帯、人数などの調査は実施しているのですか。また、専門的な支援センターの相談窓口の設置が必要です。

答 県のセンターを活用し支援につなげる

町長 28年度に調査をして、44名が該当することが明らかになり、踏み込んだ対応が難しいという現状も分かりました。

平成28年に健康課に相談窓口を開設してからは、相談が入るようになりました。

家族関係や生活困窮の問題など広域的、専門的な関わりが必要なため、町には支援センターを設置せずに、県のセンターを有効活用し、適切な支援につなげます。

健康課に相談窓口を開設しています

京都府綾部市に学ぶ

住みたくなる地域(まち)づくり

生活環境常任委員会視察（平成31年4月24日）

都市との交流拠点

綾部市は平成12年に廃校を活用して「里山ねっと・あやべ」を開設。この施設を中心に大学、森林ボランティア、里山の米作り塾、里山そば作り塾、農家民宿の紹介、田舎暮らし相談など、都市との交流に関する情報を市内外へ発信しています。

平成18年には「綾部市水源の里条例」や平成26年には「綾部市住みたくなるまち定住促進条例」を制定し、市民・事業者・行政の役割を明確化しました。

定住サポート総合窓口

また、20年度に年間15世帯の定住を目標とした「定住サポート総合窓口」を開設し、22年度に定住促進課を設置しました。

定住サポート総合窓口では、空き家バンク（登録件数：74件）を管理しています。HPやメルマガで市内イベントや空き家情報、また就職、就農相談も広く発信することで定住希望登録者が786人にもなっています。

その他にも、空き家の流動化を促進させる制度として、空き家提供者へ10万円支給の制度も設けています。

また、定住希望者を対象とした「空き家見学ツアー」も開催し、毎回20人近くの参加があります。

その他に定住者を誘導するための施策として、市が空き家を10年間無償で借り上げ3百万円以内で改修し、定住希望者へ月額3万円の家賃で賃貸する事業もしています。

現在市街地を除く地域に8棟を管理しています。

コミュニティナース

ユニークな取り組みとして平成29年には全国に先駆けて、地域の健康づくりを支援する「コミュニティナース」を導入しています。

全国から募集した看護師さんが住民票を移し共同生活を送りながら、そこに暮らす人たちの健康をサポートする活動です。

ナース（看護師）というと、病院や診療所で病気を診るお医者さんをサポートするイメージがありますが、コミュニティナースの仕事は、ふだんのお付き合いや会話の中から小さな変化を感じ取り、病気の芽を摘み取ることが目的です。

綾部市は何をやるにも一歩踏み込んだ事業内容になっています。

議会も今抱える課題をしっかり分析して政策提言していきます。

（山口）

地域みんなで助け合い

総務文教常任委員会（平成31年4月26日）

生涯学習課より「コークゼミ」の今後の取り組みを聞きました。

平成25年から「地域包括ケアフォーラム」や合同研修会などを開催。その後「我が事・丸ごと」の地域づくりを推進するため、平成30年5月「住民の地域互助活動向上に資する住民研修会運営協議会」が設置されました。

人生100年に向けてのスタート

コークゼミがスタート

平成30年8月からコークゼミ（住民学習会）が始まりました。

住民同士が実情をよく知ってもらうためにも、より参加しやすい学校単位での学習会として、名前も「校区」を使ってコークゼミとしました。

基礎から学ぼう

1年目は、基礎講座。地域互助活動に必要な知識を、専門職から実践的に学びます。

2年目はステップアップ講座。高齢者だけでなく、子育てや障がい者支援などの講座や、コークゼミ修了者が集落でどのように活動できるかなどの実践講座もあります。

高齢になっても元気で安心して暮らすことは、誰もが願うところですが、年とともにできないことが増えてきます。

そんな時、手を差し伸べてもらえれば、不安が少なくなり笑顔で楽しく暮らせるのではないでしょうか。

議員も共に支えあう地域の一員です。身近なところからの一歩一歩を大切に、絆づくりを深めるよう努力します。

（廣畑）

在職15年をたたえる

廣畑幸子議員が在職15年の全国町村議会議長会功労者表彰を受賞しました。令和元年5月30日に兵庫県町議会議長会で伝達式がありました。

おめでとうございます

「銀賞」を射止める

「第33回町村議会広報全国コンクール」は、46都道府県279町村議会から応募があり、町村議会広報審査委員の厳正な審査の結果、多可町議会広報紙が表紙写真部門で全国2位の「銀賞」に選ばれました。これを励みに、より一層スキルアップに心がけ頑張ります。

ヤッタネ!!
表紙写真　全国2位
多可町議会だより第49号写真